



# FLAMINGO

令和5年9月29発行  
横浜市立荏田南小学校  
学校だより 10月号



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/edaminami/>

『ICT（端末）の賢い使い手』になる！

校長 阿部 千鶴

朝夕、めっきり涼しくなり、急に秋がやってきました。暗くなるのも早くなり、虫の音が聞こえてきます。全国的に新型コロナウイルスとインフルエンザ、その他の感染症が流行しています。学級閉鎖をしている学校も多くあります。朝の健康観察を入念にしてほしいと思います。

さて、今年も端末の持ち帰りが始まりました。教育委員会がフィルタリングを設定してからの取り組みのため、夏休み明けになってしまいました。

昨年度の反省や保護者の方からのご意見をいくつかご紹介します。

## よかった点

iPadを使うことで、これまでできなかった授業の展開や分かりやすい授業が可能になった。

学習や、書くことが苦手な子が、iPadなら意欲的に取り組んだ。

学習の履歴が残せる。動画や写真が学習に効果的。

学校に通えないときにもオンラインで授業に参加できてありがたかった。

## 困った点

宿題は紙で出してほしい。（書く経験が減ってしまった。宿題がやりにくそうだった。）

親の言うことを聞かず、いつまでも（ゲームなどで）遊んでいた。

勝手にアプリをインストールした。

学校に持ってくるのを忘れてたり、充電してくるのを忘れてたり、授業に支障がでた。

ICT端末の活用は便利な反面、使い方によっては困ったことも起こります。これからの時代を生き抜く子どもたちは、ICT端末なしで生活していくことは困難です。家庭でも、通信ができるゲーム機などを手にしていることを考えると、ICT端末を遠ざけることは困難です。ICTの光（メリット）と影（デメリットや危険性）を知ったうえで賢く使いこなしていく使い手になってほしいと考えています。

今回の持ち帰りでは、

- ・活用内容を限定した持ち帰りとし、充電器は学校においておきます。
- ・各学年で入っていてよいアプリを学校HPに公開します。
- ・学年に応じた情報モラル（賢い使い手になる）の学習を行った上で持ち帰りを開始します。
- ・各家庭で、「端末の使い方の約束」を決めて、見守っていただく。



今年度中に、保護者も巻き込んだ情報モラルの教育ができないか模索しています。学校と家庭が協力して、子どもたちを「ICTの賢い使い手」に育てていきたいと思っています。